



森林内の放射性セシウムは、スギ林では、事故発生年（平成23年）には約34%が樹木の葉や枝等に分布していましたが、徐々に土壌へ移行し、平成26年の調査では約80%が土壌に分布しています。

落葉広葉樹林では、事故発生時に葉が付いていなかったため、スギ林と比較すると樹木における放射性セシウムの分布は約17%と低く、多くが落葉層に分布していましたが、スギ林と同様に土壌へ移行し、平成26年の調査では80%が土壌に分布しています。

なお、上川内スギ林については、枝葉の分布割合は減少していますが、依然として落葉層に多く分布しています。上川内スギ林は枝葉の量が多く、落葉層も厚く堆積していることが影響しているものと考えられます。森林の状態による分布状況の違いについて引き続き確認することとしています。

（関連ページ：上巻 P157、「森林中の分布」）

本資料への収録日：平成28年1月18日